

事業所名

発達支援ルームすたーとる

児童発達支援 支援プログラム

作成日

7年

3月

10日

法人（事業所）理念	子供たち一人ひとりの成長を大切に、その秘めた力を伸ばしていく個育て支援 ①孤立せずに、皆と一緒に育てていく子育て支援 ②発達支援の輪を広げていく（ネットワーク）				
支援方針	「楽しく過ごし、楽しく学び、個を育てていく」ことをモットーに、個々の発達段階を大切に、子供達のペースに沿った支援を提供する。 また、子供達を通してご家族の支援や地域支援を行い、これからの担う子供達と一緒に育てていく。				
営業時間	8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無 あり なし（要相談）
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	日々の体調確認を行いながら、排泄や着脱等の基本的な生活習慣をスモールステップで獲得できるよう支援を行う。 他児と一緒に活動する中で、生活の基本的な技能や様々な遊びを通して学びを促進できるよう支援する。 基本的な生活のリズムを身につけられるよう、時間での誘導や声かけ、1日の流れや活動内容の説明などは視覚支援を用いるなど、分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことができるよう支援する。			
	運動・感覚	粗大運動（運動遊びやサーキット、ボール遊び等）や微細運動（つかむ、ひっぱる、はめる等）を通して体幹や指先の力を高める等、基本的な動作の向上を目指す。 触覚、嗅覚等の感覚を経験するプログラムを設け、感覚統合を促していく。 感覚過敏な子ども達へ配慮した環境設定や、感覚の特性に合わせた支援を行う。			
	認知・行動	個々の認知特性を理解し、物や操作理解、ルール理解等を高めながら、情報収集能力や認知機能の向上、様々な状況下での対応や状況に応じた言動を行えるよう促す。 絵カードや実物での視覚的な支援（スケジュール掲示）、指示を聞き取って活動することや、模唱や模倣等を取り入れながら、文字、物の機能、属性、形、色、大きさ等概念形成を図るよう支援する。 時計やタイマーを使用した支援を行い、子ども達に事前予告や1日の流れを伝える。			
	言語 コミュニケーション	「聞く」「話す」のコミュニケーションの基盤づくりを行う。小集団での活動を通して、他児と一緒に活動する場を意図的に設定し、コミュニケーションが展開できるよう支援する。 絵本や絵カード、ホワイトボードを使用したり、ジェスチャーなどのサインを用いて、言葉以外でのコミュニケーション手段の獲得を支援する。 自分で選択する機会を作り、自分の思いを相手に伝えられる機会を作る。支援者が間に入りながら、活動を通して他者とのやり取りが経験できる場を提供する。			
	人間関係 社会性	活動や遊びの中で、相手の行動を模倣することを促しながら、一人遊びから小集団での遊びや活動へ発展させることで、社会性を育めるよう支援する。 小集団活動の中で、ルールや順番を守りながら他者と楽しい時間を過ごせるよう支援する。 子ども達の思いに寄り添った声掛けやサポートを行い、他者と適切な距離感を保ち良好な関係を築けるよう支援する。			
家族支援	送迎時等のやり取りや連絡帳を通して随時情報共有を行うと共に、必要に応じて面談や参観する場を設け、ご家族の不安や困りごとへの相談援助を行う。	移行支援	併用中の保育園等と情報共有を図りながら、成果や課題及び対応方法を構築していく。 保育所等でも楽しく通えるように、保育所等訪問支援を通して集団場面での直接支援及び間接支援を行う。		
地域支援・地域連携	関係機関と連携し、情報共有や発達支援における連携を図る。 地域のイベント参加や児童館や図書館及び公園等の公共施設を活用を通して、地域との交流する機会を提供する。	職員の質の向上	毎朝のミーティングを通して、密な情報共有及び連携を図る。 外部研修や、ZOOM等を利用した研修に参加を促しながら、伝達研修などを通して積極的な意見交換や学びを行い、職員の質の向上を図る。		
主な行事等	避難訓練（地震、火災、不審者）、参観日、クッキング、戸外活動（買い物ごっこ、公園遊び、施設見学等） 季節の製作・行事イベント（七夕、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、正月、節分、ひな祭り、遠足等）				